

保育所児童保育要録

『保育に関する記録』の記入の仕方



『保育に関する記録』の内容について

「保育所児童保育要録」の「保育に関する記録」は、主に①**最終年度の重点**、②**個人の重点**、③**保育の展開と子どもの育ち**、④**特に配慮すべき事項**、⑤**最終年度に至るまでの育ちに関する事項**の5項目からなります。

① **最終年度の重点** （年間のねらい）

最終年度の初めに年間指導計画で立てた、**クラスの保育の目標・ねらい**を書きます。

クラスのどの子どもについても同じ内容となります。

② **個人の重点** （大切にしてきた子どもの姿）

最終年度を振り返って**対象の子どもに関わる上で特に重視してきた指導内容**を記入します。保育記録をもとに子どもの姿や保育士との関わりを振り返りながら書いてみましょう。

③ **保育の展開と子どもの育ち** （1年間の保育と子どもの姿）

最終年度の1年間で**特に成長が著しかった点について**記入します。

保育所の生活を通して総合的に捉えた子どもの発達の姿を5領域や「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の視点をもち記入することが大切です。

④ **特に配慮すべき事項** （健康状態・発達など）

アレルギーなど子どもの健康に関することや、**就学後に配慮が必要なこと**を記入します。

⑤ **最終年度に至るまでの育ちに関する事項** （入所から年長までの保育と子どもの姿）

入所から最終年度までの育ちの姿について記入します。記入する内容は、**最終年度における子どもの姿を理解するために重要だと考えられる事柄**を選びます。「0歳児の時〜」など年齢ごとに記入すると良いでしょう。

『保育に関する記録』の記入のコツと注意点について

- 忙しい年度末に一気に作るのは大変です。普段からメモをとる習慣をつけましょう。
- ネガティブな表現は避け、子どもに何か課題があった場合は、保育所で行った対処方法も記載するといいいでしょう。
- 保育現場を知らない小学校の教員がイメージがしやすいよう具体的でわかりやすい表現を心掛けましょう。
- 保育士個人の強い思いではなく、客観的な視点で書きましょう。
- 子どもの姿を多角的に捉えることができるよう他の保育士と共有しましょう。
- 子どもの伸びしろや資質についてわかりやすく書き、小学校の教育につながるようにしましょう。
- 誤字、脱字に注意しましょう。

**日々の保育をしてきた保育士だからこそ
感じ取れる子どもの育ちを、小学校に伝
えていきましょう。**



記入例 ちよっとだけ

個人の重点

- * 様々な遊びに興味や関心をもち、遊びの中で友達の意見を聞く大切さや協力する喜びを感じる。
- * 意欲的に様々な活動に取り組み、挑戦する楽しさや失敗する悔しさを感じながら達成感を味わう。

保育の展開と子どもの育ち

- * 虫など生き物に対して興味や関心をもつことが多く、虫取りを行った際は虫の捕獲について友達と言い合いになることもあったが、次第に友達の意見に耳を傾け、一緒に遊びを楽しむ姿が見られた。
- * 運動会では、先頭に立ってクラスをまとめる姿が見られた。自分の意見を伝える中で友達とのやり取りがスムーズに進まないこともあったが、徐々に友達の言葉に耳を傾けることができるようになった。

最終年度に至るまでの育ちに関する事項

- * 2歳児の時（入所時）は、環境に馴染めないせいか友達との関りが見られず保育士のそばにいたことが多かった。3歳児になり、少しずつ友達との関りが増え、特定の友達とごっこ遊びなどを楽しむ様子が見られるようになった。5歳になって、様々な友達と関わり活動の幅も大きく広がった。

「保育所保育指針解説」より

- ・子どもの状況に応じて柔軟に作成する
- ・一人ひとりの子どもの良さや全体像が伝わるように工夫する
- ・子どもの最善の利益を考慮し、保育所から小学校へ子どもの可能性を受け渡していくものであると認識する
- ・保護者との信頼関係を基盤にして、保護者の思いを踏まえつつ記載する
- ・保育要録の送付について、入所時や懇談会などを通して保護者に通知することも必要
- ・保育要録は個人情報を含むものであるため、個人情報の保護に関する法律などを踏まえて適切に扱うこと